

きらりとマクマク

第20号

特集 『働き方を考える』



働き方を考える

今回の特集は『働き方を考える』です。近頃は「働き方改革」や「ワークライフバランス」（仕事と生活のバランス）という言葉がちまたでもよく聞くようになり、「働き方」を見直す風潮が強くなってきました。今回は様々な働き方について一緒に考えてみたいと思います。あなたに合った働き方はどんなものでしょうか？

正規雇用（正社員）と非正規雇用の比較

昭和の頃は「働く」と言えば、どこかの会社に正社員で就職し、1日8時間、週5日、というのが一般的でした。いわゆるサラリーマンです。しかしこの枠組みだけでは病気を抱えた方や、子育てや介護との両立が難しい方には合わないこと、また不況の影響などもあり、平成の頃からは非正規雇用や派遣労働者が増えてきました。現在日本の労働者は正規雇用が6割、非正規雇用が4割という割合になっています。なお、ここでは「非正規雇用」とは契約社員、パートやアルバイトなどとします。正規雇用（正社員）と非正規雇用とを比較すると以下のようになります。

雇用形態	収入	残業	休みの取りやすさ	雇用の安定度	昇給・昇格	転勤・異動	自由度
正規雇用	○	会社によるが、長時間の場合もある	会社によるが、取りにくいこともある	基本的には無期雇用なので安定している	制度があることが多いので可能性が高い	会社によるが、あり得る	△
非正規雇用	×	ない、あるいは少ないことが多い。選べる時もある。	会社によるが、正規雇用よりは融通はききやすい	有期雇用が多く、契約が更新されないこともある	制度がないことが多いので可能性が低い	たいていの場合ない事が多い	○

なお、これはあくまで一般的に言われている特徴ですので、会社によっては非正規でも仕事が大変、正規でも雇用が不安定（リストラや倒産）ということもあります。同様に、非正規でも昇給がある会社、正規でも休みやすい会社、残業の少ない会社もあります。

また、非正規の割合は年々増加していますが、これは単純に非正規を選ぶ人が増えたということだけでなく、正規になりたくてもなれなかった結果、とも言えます。正規雇用を望んでも学歴や職歴や年齢を問われ、なかなか採用されにくい、というのも社会の現状と言えます。

会社に雇われない働き方

ここまではあくまで「会社に雇われる」という形の働き方でした。ここからは「会社に雇われない」形の働き方を、一部ですが紹介します。広い意味では全て「開業」と言えます。

お店の経営

会社やお店など自分が「社長」となって開業します。一人で続けることもできますし、規模が大きくなってきたら自分が誰かを「雇う」こともできます。ネットショップの運営やカフェの経営、占い師なども開業になります。



クリエイター業

イラストレーターやデザイナー、写真家やプログラマーなど何かを創る（クリエイトする）仕事の場合、会社で雇用されるだけでなくフリーランスとして活動することも可能です。手作りの製品をインターネットで販売するのもこの類に入ります。

投資

株や為替、不動産、仮想通貨などの投資です。物やサービスを売るのはではなく、言うなればお金でお金を増やす方法です。インターネット環境があれば自宅で売買が可能です。

ユーチューバー

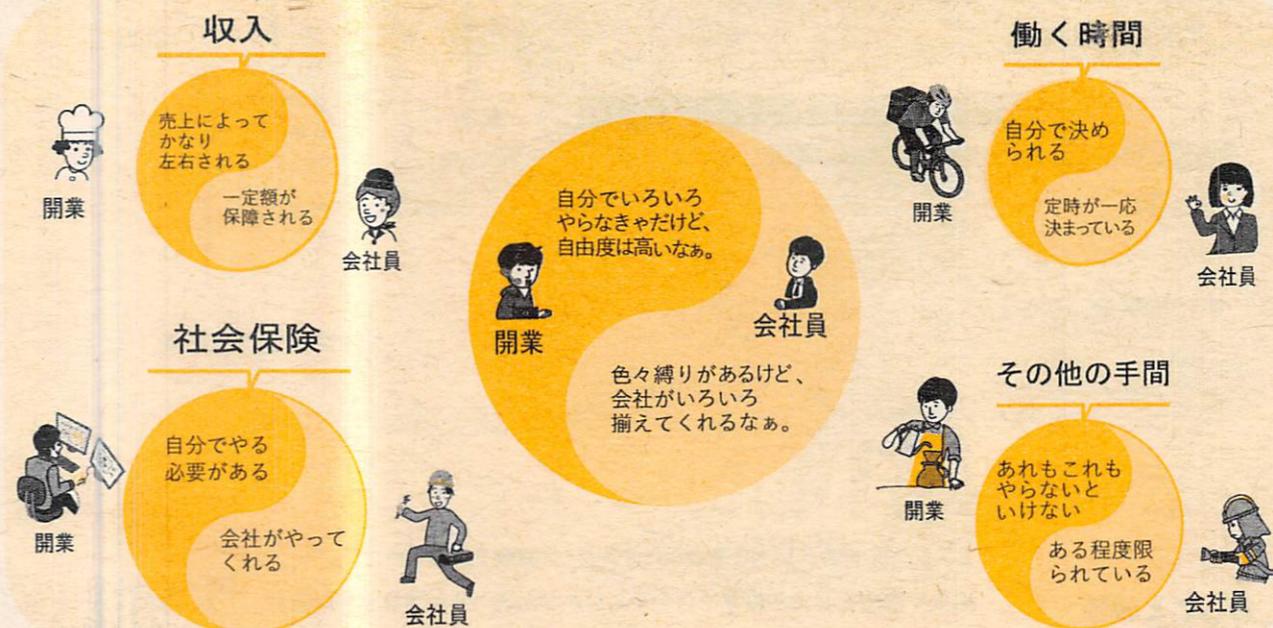
最近流行りのアレです。一定の再生回数を超えると収入が入る仕組みになっています。個人で行うテレビ番組制作のようなものですが、うまく当たれば（バズれば）一定の収入も見込めます。



その他

ウーバーイーツ、ヤクルトレディ、内職など。これらは全て会社のシステムを利用して働くので、一見雇用のようですが、実際には歩合制で「個人事業主」の扱いになります。

会社員と開業の比較



こうして比較すると開業のほうが自由な要素は多いですが、うまく軌道に乗せるにはそれなりの時間や労力、商才やひらめきが必要になります。その点、会社員の場合は会社が整えておいてくれる様々な手間（仕事環境、収支など金銭面の管理、社会保険の加入、仕事の割り振りなど）が多い分、自分自身がやる範囲は絞られていると言えます。「やりたいことをやる」という意味では開業のほうがいいかもしれませんが、「安定的に収入を得る」という意味での難易度は会社員のほうが易しいと言えます。

まとめ

今の時代は「働く＝フルタイムのサラリーマン」だけではなく、様々な働き方があることをみてきました。また、それぞれの働き方には特徴やメリット・デメリットもありました。

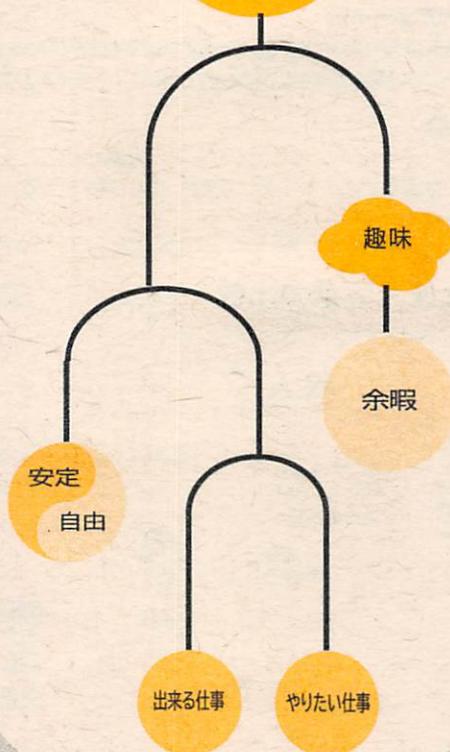
どれか1つに絞る必要があるわけでもなく、例えばバイトをしながら小説を書いたり、自宅で投資をしたり、といったことも可能です。「稼ぐための仕事」と「やりたいことのための仕事」を分けるのも1つかもしれません。

いずれにしても実際には「やりたいこと」や「これだけの収入を得たい」ということだけで仕事を選ぶことは少なく、健康面、生活面、経済面で様々な事情を皆それぞれに抱えられていると思います。ワークライフバランスという言葉が広がりつつあるのはよい兆候ですが、現実には様々な妥協の上で成り立っていることも少なくありません。

ただ、その中でも「自分らしい生活や自分らしい働き方の模索をしていく」この意味はやはりあるのではないのでしょうか。

本特集が少しでもそのことの参考になれば幸いです。

ワークライフ バランス



おしごと相談

「コモドチャット」

アンダンテでは、LINEを使ったオンライン相談を行っています。

病気や障害をお持ちの方や自宅からなかなか出づらい方などを対象に働くことについての相談を無料で行ってまいります。

興味のある方は「友だち追加」をお願いします。



次号予告

次号は「セルフケア」をテーマにする予定です。

バック
ナンバー

<https://andante-station.jimdofree.com/>

